

平成29年度事業報告書

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

特定非営利活動法人ブロードバンド・アソシエーション

1. 事業の成果

平成29年度は、BA設立14年目、2020年の東京オリンピック・パラリンピックを視野に、これまでの産官学連携の特別講演会、サロン、研究会等の活動をより充実を指向して実施すると共に、設立10周年を機に設立した「スマートプラットフォーム・フォーラム」活動を通して、新産業の創出、産業のスマート化に貢献する活動を進めた。

平成16年度から開始した「ブロードバンド特別講演会」は、年2回(通算28回)、5月と12月に開催、好評を得ている。特に、世耕弘成 経済産業大臣を招いて、“CeBIT2017が問う今後の日本のIT戦略”のテーマで5月に開催した第27回は、アンケート調査で有意義(大変有意義:55%、有意義:45%)が100%と高い評価を頂いた。平成16年度から開始した「BAエグゼクティブサロン(略称:BAサロン)」は、今期も、各界の有識者をお招きし、勉強会+立食パーティを9回(通算120回)開催した。また、特に注目すべき卓話について、「BAエグゼクティブサロン卓話録」を発行し、BA会員、関係者に配布した。さらにクリエイターの人材育成に貢献する「BAクリエイターズサロン」を今期2回(通算33回)、関係団体(VIPO)の協力を得て開催した。平成20年度から開始した「映像配信ビジネス研究会」は、今期10回(通算95回)開催した。また、研究会10年目を迎えるに当たり、アンケート調査を実施し、活動全般の見直しを行い、研究会の名称は、「映像ビジネス研究会」に改称することとした。

平成25年度から開始した「スマートプラットフォーム・フォーラム(略称:SPF、委員長:森川教授)」は、“<2020年IoTで日本を元気に>～イノベーションを成功させるデザイン&「新事業育成分科会」等の新設～”のテーマで「第7回公開フォーラム」を開催した。また、前委員長(村井教授)の2年半、5回にわたる「公開フォーラム」の活動内容をまとめた報告書を、インプレス社から刊行した。またSPF分科会では、湘南慶育病院における『Hospital in the Home』の実証実験参加に向けた活動等を進めた。

一方、税制が優遇され、ブランドが高まるNPO法人の認定取得については、認定要件を満たす為、定款、規程類の整備を行った。また、設立15周年を迎えるに当たり、次期活動方針/ビジョン検討WGを設置し、活動全般の総ざらいを行うと共に、デジタル変革下に取組む新規案件を検討し、次期活動方針を策定した。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額(千円)
ブロードバンドを使った活動をしている産・官・学・民交流の場の運営	「ブロードバンド特別講演会」	5月17日	明治記念館 曙の間	19名	BB関係者/一般: 会場参加者:252名 ネット来場者数:340	
	<第27回(CeBIT2017が問う今後の日本のIT戦略)> 祝辞:世耕弘成氏(経済産業大臣)、基調講演I:竹内芳明氏(経済産業省 審議官(IT戦略担当)):CeBITを契機とした国際展開の推進)、基調講演II:岩本敏男氏(NTTデータ 社長:テクノロジーがもたらす混沌と革新)、特別挨拶:Thomas Mosch氏(Deutsche CeBIT)、パネルディスカッション(IoT時代に向けた日本の挑戦)、モデレータ:関口和一氏(日本経済新聞社 編集委員)、パネリス					

	ト:岩佐琢磨氏(Cerevo 代表取締役)、牧野正幸氏(ワークスアプリケーションズ 代表取締役)、後藤厚宏氏(情報セキュリティ大学院大学 学長)、前川 徹氏(国際大学GLOCOM 所長)					2,494
	<第28回(東京2020が促す通信・放送ルネサンス)> 基調講演Ⅰ:古宮正章氏(東京オリパラ組織委員会 副事務総長:東京2020大会:新たなスポーツの価値の創造)、基調講演Ⅱ:鈴木茂樹氏(総務省 総務審議官2020年以降に向けた日本のICT戦略)、講演Ⅰ:栗山浩樹氏(NTT取締役(2020担当):スマート&ユニバーサルソサイエティ×ICT~2020年、そしてその先へ)、講演Ⅱ:児野昭彦氏(NHK専務理事・技師長:『2020』・そして、それからの放送メディア)、パネルディスカッション(オリンピックが拓く新ビジネス-コネクテッドインダストリーズへの挑戦-)、モデレータ:関口和一氏(日本経済新聞社 編集委員)、パネリスト:古宮正章氏、鈴木茂樹氏、栗山浩樹氏、児野昭彦氏	12月15日	明治記念館 曙の間	21名	BB関係者/一般:会場参加者:265名 ネット来場者数:621	
交流会・研究会・セミナーの開催1	「BAエグゼクティブサロン(座長:山下理事長)」					1,920
	第112回:城所岩生(国際大学GLOCOM客員教授、米国弁護士:イノベーションと著作権)	4月20日				
	第113回:福田一則(JOCDN 取締役:JOCDNの取り組み~放送局による動画配信CDN事業~)	6月15日				
	第114回:中尾彰宏(東京大学 大学院情報学環教授:「ネットワーク・ソフトウェア化」から「考えるネットワーク」へ)	7月20日				
	第115回:宇佐見正士(KDDI 理事 技術統括本部新技術企画担当:KDDIのマルチメディア技術の取り組み)	9月21日				
	第116回:橋田浩一(東京大学大学院情報理工学系研究科教授:パーソナルデータの分散的活用とスマートソサイエティ)	10月19日	NTTデータ本社	48名(延べ)	BB関係の経営者、上級管理者:252名	
	第117回:関口和一(日本経済新聞社 編集委員:世界の見本市に見る家電新潮流)	11月20日				
	第118回:小池良次(情報通信システム/商業無人飛行機システムを専門とするリサーチャー:CES(国際家電見本市)2018に見るブロードバンド新潮流)	1月16日				
	第119回:笈誠一郎(eスポーツコミュニケーションズ合同会社 代表執行役社長、日本eスポーツ連合文化委員長:「eスポーツ」について)	2月15日				
	第120回:磯 尚樹(NTTデータ e-コミュニティ事業部 担当部長:高精度測位サービスが創る未来~準天頂衛星みちびきの運用開始に向けて~)	3月15日				
	「BAエグゼクティブサロン卓話録」					
	<No.1「Internet of Abilitiesの時代:Augmented RealityからAugmented Humanへ」>:暦本純一氏(東京大学大学院 情報学環 教授)の卓話録を発行、BA会員、並びにBAの活動をサポートして下さる方々に進呈した。	7月発行	-		BB関係者/一般:500	
	<No.2「Hospital in the home-4Kテレビと通信の融合が創るD to Pの新しい形」進歩したテクノロジーは訪問診療をかえるか?-湘南慶育病院で試みたいと考えていること> 松本純夫氏(東京医療センター名誉院長)の卓話録を作成、BA会員、並び	10月発行	-		BB関係者/一般:500	

	にBAの活動をサポートして下さる方々に進呈した。また、松本先生の講演配布資料に供した。					
	「BAクリエイターズサロン(座長:為ヶ谷秀一)」					
	第32回:大屋哲男(ピクチャーエレメント 代表取締役:映画における「テクニカルマネジメント」の実際と課題)	8月27日	VIPO	8名(延べ)	BB関係者(主にクリエイター):45名	
	第33回:AMIY MORI(Photographer・映画監督・Media Producer:NET 映像がもたらすパワー)	10月16日	VIPO			
交流会・研究会・セミナーの開催2	「映像配信ビジネス研究会座(座長:境真良)」					
	第86回:水野重理(Perform Investment Japan DAZNコンテンツ制作本部長:DAZN(ダ・ゾーン)、境真良(国際大学GLOCOM 客員研究員:MWC/AWE/CeBITレポート)	4月7日				
	第87回:渡部義隆(NPO法人映像産業振興機構 第四事業部 部長:J-LOP4の現状について)、鈴木祐司(次世代メディア研究所 代表:コンテンツからみた"放送と通信のベストな連携)	5月31日				
	第88回:福田一則(JOCDN取締役:JOCDNの取組み~放送局による動画配信CDN事業~)、塚本幹夫(ワイズ・メディア代表取締役:放送同時配信の流れ~日米の状況から考察する~)	6月29日				
	第89回:遠藤 諭(角川アスキー総合研究所 取締役:マストドンMastodonとは何か?)、岸原孝昌(一般社団法人モバイル・コンテンツ・フォーラム 専務理事:最新モバイルコンテンツビジネスについて)	7月26日	WOWOW	38名(延べ)	BB関係者(主に映像):180名	929
	第90回:川喜田尚(大正大学 表現学部 教授:メディアとスポーツジャーナリズム~変わるメディアの価値と役割)、安藤聖泰(HAROiD 代表取締役社長:HAROiD これまでの2年間)	8月21日				
	第91回:小倉敏之(ソニービジュアルプロダクト 技術戦略室 主幹技師:HDRを(正しく)理解する~その基本から最新情報まで~)、飯野嘉郎(BA事務局長:「映像配信ビジネス研究会」の今後を考えるに当たって)	10月2日				
	第92回:芦村和幸(慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科 特任准教授:WoT: Web技術で加速するIoT)、飯野嘉郎(BA事務局長:アンケート調査の実施について(その1))	10月31日				
	第93回:杉野文則(ビーマップ 代表取締役社長:放送・交通メディアから店舗への送客について)、永野行雄((一社)コンテンツ海外流通促進機構 専務理事:CODAの著作権侵害対応と正規流通促進への取組)	11月29日				
	第94回:境真良(国際大学GLOCOM 客員研究員:「CES2018」トピックス)、飯野嘉郎(BA事務局長:アンケート調査の実施についてその2))	1月24日				
第95回:数土直志(ジャーナリスト(アニメーション/エンタテインメントビジネス):革新を続ける国内アニメーションの強みと可能性)、飯野嘉郎(BA事務局長:アンケート調査の実施結果について)	3月13日					
ブロードバンドを使った活動をしている産・官・学・民交流の場の運営2	「公開フォーラム(委員長:森川博之)」					
	「第7回」(2020年IoTで日本を元気に! >イノベーションを成功させるデザイン&「新事業育成分科会」等の新設) 基調講演:白根英昭氏(mct 代表取締役CEO:なぜイノベーションにデザインが必要か?)、講演 I :平井千秋氏(日立製作所 東京社会イノベーション協創センター 主管研究員:デザイナーと研究者が出会うとき - 同床化によるイノベ	7月5日	東京大学本郷キャンパス		BB関係者/一般:会場参加者:115名	

	<p>ーションの試み)、角岡幹篤氏(富士通研究所IoTシステム研究所:有志からイノベーションを目指して~87プロトタイプの意味~)、有本香織氏(NTTドコモ 第一法人営業部IoTプロジェクトチーム:ドコモの農業IoTと地方創生の取り組み) <パネルディスカッション> モデレーター:森川博之 委員長、パネリスト:白根英昭氏、平井千秋氏、角岡幹篤氏、有本香織氏</p> <p>「公開フォーラム実施報告書」</p> <p>村井純委員長のもと、2年半、5回にわたる公開フォーラムの実施内容をまとめた報告書、「次世代産業の共通基盤となるIoT/スマートプラットフォーム[農業から医療・健康、スマートハウス/在宅ヘルスケアまで]」(編著:藤原洋、監修:山下徹、村井純)をインプレス社から出版し、BA会員のみならず、一般の方々に購入頂けるようにした。</p>	3月 刊行	イン プレ ス社		ネット来場 者数:235	1,285
交流会・研究会・セミナーの 開催3	「SPF分科会」	5月 2日 6月 12日 10月 17日	WEB 会 議、 キャン、 NTT-TX	9名 (延べ)	分科会参 加者:22名	1,035
	「健康・医療分科会(主査:坪井俊明)」 湘南慶育病院(院長:松本先生)の「遠隔医療の実証実験」参加に向け、松本先生のご協力を得て、検討/準備を進めた。主査は、南政樹氏(慶應義塾大学SFC研究所)から坪井俊明氏(NTT-TX)に引継ぎ、松本先生に実証実験に向けた提案をおこなった。また、松本先生の「BAエグゼクティブ卓話録No.2」を湘南慶育病院に講演配布資料として提供した。また、NTTドコモ、ブイキューブも検討メンバーに加わって頂き、検討体制を強化した。					
	キャン製超小型カメラ(未発売)の遠隔医療への適用可能性について、医療従事者の声を聴くため、湘南慶育病院を、キャン関係者と訪問、実機を見てもらい、質疑応答をおこなった。	12月 5日	湘南慶育 病院	2名	BB..健康・ 医療関係 者:20名	
	「サービス・WEB分科会(主査:舟橋洋介)」 農業分野のWoTの標準化に向け、W3CAgriculture CGIに提案する事項を、木浦CG委員長が整理し、関係者のご協力を頂きながら、「あるものは使う・複数あるものは調整する」スタンスで調査活動を進めた。データ表現のベースとなる語彙については、官がまとめた農業用語のガイドラインを利用する。またベースとなる書式、APIについては、「農業データ連携基盤(データプラットフォーム)」、Ag Gateway等の標準化に向けた活動をウオッチしながら検討している。	4月~ 3月	メーリン グリスト	2名	分科会メン バー:16名 W3CAgric Ulture CG 登録者: 50名	
	「コンテンツ分科会/ウエルフェア・イノベーション分科会(主査:庄司昌彦)」 庄司主査が、コンテンツ分科会の3年にわたる検討成果を、「農業オープンデータ等を活用した「食・農情報流通プラットフォームNober」の構想」としてまとめ、「2017年度秋季(第37回)情報通信学会大会」で発表した。	11月 18日	早稲田大 学 早稲 田キャン パス	2名	情報通信 学会関係 者:多数	
	コンテンツ分科会の検討成果を、「第2回大地の力コンペ」(主催:女性未来創造研究会)に応募し、最終審査の表彰式会場で発表、「未来農業シーズ賞」を受賞した。	3月 7日	東大安田 講堂	2名	BB/農業関 係者:多数	
	上記農業分野のオープンデータ利用促進の考え方を福祉分野に適用しようとする「ウエルフェア・イノベーション分科会」の設立を「第7回公開フォーラム」で発表し、活動の具体化を検討している。	7月~ 3月	GLOCOM	2名	企画検討 メンバー:4 名	
	「新事業育成分科会(主査:杉本誠司)」 新事業育成、ベンチャーの支援に役立つ「定期開催型マッチング・イベント」の基本構想を「第7回公	4月~	BA 会 議	3名	企画検討	

	開フォーラム」で発表した。これをベースに、関係者のご意見をお聴きしながら、企画の具体化を進めている。	3月	室等		討メンバ ー:20名	
--	--	----	----	--	---------------	--

(2) その他の事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額(千円)
	実施しなかった					